

第2回理事会報告

- 日 時 令和2年1月22日（水）午後3時15分～同5時20分
- 場 所 歯科医師会館8階801・802会議室
- 出席者 <会 長> 住友雅人
<副 会 長> 松村英雄、川口陽子
<総務理事> 小林隆太郎
<常任理事> 尾松素樹、神田晋爾、石井信之、弘中祥司、中村雅典、古郷幹彦、山下喜久、木本茂成、村上伸也、佐藤裕二、河野文昭、宮崎 隆
<理 事> 佐藤真奈美、田上順次、大川周治、今里 聡、浅海淳一、飯島毅彦、尾崎哲則、金子明寛、野本たかと、近藤壽郎、宮崎真至、阿南 壽、富士谷盛興
<オブザーバー>
□国際歯科研究学会日本部会会長
今里 聡（本学会理事兼任）
- 欠席者 <理 事> 森山啓司、渋谷 鑛、前田初彦、安井利一、今井 裕

[議長 小林総務理事]

1. 開 会

松村副会長から、開会の辞。

2. 挨拶

住友会長から、机上に配付されている第24回日本歯科医学会学術大会ポスター第1版の説明がなされた。

3. 紹 介

小林総務理事から、日本歯科麻酔学会から選出理事の交代届出を受けて、宮脇卓也（前理事）に代わり、飯島毅彦（新理事）が本学会理事に選出された旨の紹介が行われた。

住友会長から飯島理事に理事指名書と本学会徽章が手渡された。

4. 報 告

1) 会務報告

(1) 一般会務報告

小林総務理事から、次の資料に基づき報告。

一般会務報告（令和元年7月1日～令和2年1月15日）

第1回理事会報告（令和元年7月10日開催）

第1回常任理事会報告（令和元年12月18日開催）

(2) 専門・認定分科会への情報提供

小林総務理事から、令和元年7月1日～令和2年1月15日までの情報提供項目20件について資料に基づき報告。

(3) 役員派遣

令和元年7月1日以降、新規1件について確認がなされた。

2) 会計現況報告

神田常任理事から次の資料に基づき、会計現況報告がなされた。

学会会収支計算書（平成31年4月1日～令和元年11月30日）

第24回日本歯科医学会学術大会会計収支計算書

（平成31年4月1日～令和元年11月30日）

3) 第24回日本歯科医学会学術大会関係報告

松村副会長から次の資料に基づき、報告。

第24回日本歯科医学会学術大会関係報告（令和元年7月1日～令和2年1月15日）

4) 理事・評議員・予備評議員等の交代について

小林総務理事から、日本歯科麻酔学会の役員改選に伴って同学会選出の理事、評議員、予備評議員、学術研究委員、JDSR Editorial Board を交代した旨を資料に基づき報告。

5) 日本歯科医学会役員業務分担

小林総務理事から飯島理事（日本歯科麻酔学会選出）の業務分担について、医療関連

(研究倫理審査委員会)の担当理事である旨を資料に基づき報告。

6) 令和2年度諸会議開催予定について

小林総務理事から、資料に基づき報告。特に、令和3年1月20日(水)に予定されている第5回常任理事会の開始時刻については、理事の先生方をお待たせしないような運営を図るため、変更の可能性(同日の早い時間に前倒し)がある旨の発言があった。

7) 令和2年度診療報酬改定に向けた医療技術の評価(案)について

小林総務理事から、令和2年度改定に向けて日本歯科医学会各分科会より提出された医療技術評価提案書について、第3回診療報酬調査専門組織・医療技術評価分科会(令和元年1月9日開催)の評価結果について報告。なお、本日午前中に第446回中医協総会が開催されており、歯科医療技術については本会議資料の内容と特に変更なく了承されたことを確認している旨の発言があった。これに伴い、「診療報酬改定において対応する優先度が高い技術」の23件と「中医協総会において一部若しくは全部が議論された提案」の2件、合計25件の歯科医療技術については、何らかの形で保険収載される旨が述べられた。今後は関連学会と本学会により通知文等の作成について厚生労働省に協力、支援を行うこととなる。

8) その他

▶ 国際歯科研究学会日本部会報告

今里会長より標記について口頭報告。

4. 議 題

1) 顕彰審議会答申の取り扱いについて

宮崎常任理事より標記について顕彰審議会からの答申書に基づき諮られ、協議の結果、答申内容を承認し、2月17日開催の第102回評議員会の中で、授賞式を執り行うことで全会これを承認した。なお、授賞者は以下の通りである。

<研究部門>

西原達次 (九州歯科大学理事長・学長/歯科基礎医学会推薦)

矢谷博文 (大阪大学大学院歯学研究科教授/日本補綴歯科学会推薦)

山崎和久 (新潟大学大学院医歯学総合研究科教授/日本歯周病学会推薦)

<教育部門>

- 石井拓男 (東京歯科大学短期大学学長／東京歯科大学推薦)
櫻井 薫 (東京歯科大学名誉教授／日本老年歯科医学会推薦)
前田伸子 (鶴見大学名誉教授／鶴見大学歯学部推薦)

<地域歯科医療部門>

- 砂川英樹 (沖縄県歯科医師会会員／日本歯科麻酔学会推薦)

2) 専門・認定分科会資格審査委員会答申の取り扱い(認定分科会登録申請学会)について

小林総務理事から、理事会での採決方法について、担当役員からの答申書に基づく説明、意見交換を経て、全理事による無記名投票とすること、また、投票総数の過半数の可票を得た申請学会を第102回評議員会に議案を上程することについて説明がなされた。

担当役員である川口副会長から、専門・認定分科会資格審査委員会の「認定分科会登録申請学会の資格審査について(答申)」に基づき、認定分科会登録申請学会の登録資格に係わる委員会の審議内容の説明が行われた。今回の審査は、認定分科会への登録申請があった6学会(日本顕微鏡歯科学会、日本睡眠歯科学会、日本デジタル歯科学会、日本先進インプラント医療学会、日本口腔ケア学会、日本口腔内科学会)について、平成31年4月1日から施行された承認基準に基づいて行われている。

各学会の申請内容に係わる意見交換の後、理事による無記名投票が行われた。川口副会長と山下常任理事の立ち合いのもと、事務局による開票作業が行われた結果、全ての登録申請学会が過半数の可票を得るに至らず、全ての登録申請学会を登録否とすることが、全会一致で承認された。

3) 第102回評議員会の開催(議案)について

小林総務理事から標記について日程案をもとに諮られ、協議の結果、本日の理事会の議題2)を受けて、原案における第1号議案と第2号議案を取り消し、第3号議案以降の議案番号をそれぞれ、2つずつ繰り上げることの説明が行われた。その上で、この日程に基づき第102回評議員会を開催することが承認された。

○第1号議案 令和2年度日本歯科医学会事業計画

小林総務理事から、資料に基づき諮られ、協議の結果、第102回評議員会の第1号議案として上程することが承認された。

○第2号議案 令和2年度学会会計収支予算

神田常任理事から、資料に基づき諮られ、協議の結果、第 102 回評議員会の第 2 号議案として上程することが承認された。

○第 3 号議案 令和 2 年度第 24 回日本歯科医学会学術大会会計収支予算

神田常任理事から、資料に基づき諮られ、協議の結果、第 102 回評議員会の第 3 号議案として上程することが承認された。

4) 第 102 回評議員会の運営について

尾松常任理事より、本理事会における認定分科会登録申請学会の審査結果を第 102 回評議員会に報告されるかとの確認があった。小林総務理事から、一般会務報告の中で報告する旨の回答がなされた。

小林総務理事から第 102 回評議員会タイムスケジュールについて諮られ、全会これを承認した。

5) その他

○認定分科会登録申請学会への連絡について

宮崎常任理事、村上常任理事より、認定分科会登録申請学会への本理事会の結果の連絡方法について要望があり、住友会長より改善点等をより詳細かつ明確にまとめて報告する旨の発言がなされた。

5. 閉 会

川口副会長から、閉会の辞。